

# デーヴォ ガイド



2024.9.2-8

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

## L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(2~3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

## セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディポジションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?) 1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

## 礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか?)

④この世にあって何を実践しますか?

## 2日 月曜

### ネヘミヤ



2:1 アルタクセルクセス王の第二十年のニサンの月に、王の前にぶどう酒が出されたとき、私はぶどう酒を取り、王に差し上げた。それまで、私は王の前で気持ちが沈んでいたことはなかった。

2:2 すると、王は私に言った。「病気でなさそうなのに、なぜ、そのように沈んだ顔をしているのか。きっと心に悲しみがあるに違いない。」私は非常に恐れて、

2:3 王に言った。「王よ、永遠に生きられませうように。私の先祖の墓がある都が廃墟となり、その門が火で焼き尽くされているというのに、どうして沈んだ顔をしないでいられるのでしょうか。」

2:4 王は私に言った。「では、何を望んでいるのか。」私は天の神に祈ってから、

2:5 王に答えた。「もしも王が良しとされ、このしもべにご好意をいただけますなら、私をユダの地、私の先祖の墓のある都へ遣わして、それを再建させてください。」

2:6 王は私に言った。王妃もそばに座っていた。「旅はどのくらいかかるのか。いつ戻ってくるのか。」王はこれを良しとして、私を遣わしてくださることになり、私は予定を伝えた。

2:7 また私は王にこう言った。「もしも王様がよろしければ、ユダに着くまで私が通行できるように、ユーフラテス川西方の総督たちへの手紙をいただけるでしょうか。」

2:8 そして、宮の城門の梁を置くため、また、あの都の城壁と私が入る家のために木材をもらえるように、王家の園の管理人アサフへの手紙をお願いします。」わが神の恵みの御手

が私の上にあったので、王はそれをかなえてくださった。

2:9 それで私はユーフラテス川西方の総督たちのところに行き、王の手紙を彼らに手渡した。王は、軍の高官たちと騎兵たちを私とともに送り出してくださった。

2:10 ホロン人サンバラテと、アンモン人である部下のトビヤは、これを聞いて非常に不機嫌になった。イスラエル人の益を求め者がやって来たからである。

ネヘミヤの「気持が沈んだ」姿に、王は心を碎きます。ネヘミヤは主を第一とする信仰の人であるとともに、誠実に王に仕える者でもありました。その生きる姿勢が、主に用いられてのは明らかです。

主のために役に立ちたいと願うなら、主の証のゆえにこの世の人々に誠実を示す必要があります。責任感の足りない人に主は働きを任せるとはなりません。

とはいえ、10節にあるようにネヘミヤの敵もいました。主のために生きようとする者には、的が現れることも承知しておきましょう。この世はまだサタンの裁きが終わっていないからです。しかし同時に主の守りがあることも知って、勇気を忍耐を持ちましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 3日 火曜

ネヘミヤ



2:11 こうして私はエルサレムに着いて、そこに三日間とどまった。

2:12 ある夜、私は起きて出て行った。ほかに数人の者も一緒であった。しかし私は、私の神がエルサレムのためにさせようと私の心に示しておられることを、だれにも告げなかった。また私自身が乗った動物のほかに、動物はいなかった。

2:13 私は夜、谷の門を通過して竜の泉の方、糞の門のところに出て行き、エルサレムの城壁を調べた。それは崩され、その門は火で焼き尽くされていた。

2:14 さらに、泉の門と王の池の方へ進んで行ったが、私が乗っていた動物の通れる場所がなかった。

2:15 夜のうちに流れを上って行って、城壁を調べた。そしてまた引き返し、谷の門を通過して戻った。

2:16 代表者たちは、私がどこへ行っていたか、また私が何をしていたかを知らなかった。ユダヤ人にも、祭司たちにも、有力者たちにも、代表者たちにも、そのほか工事をする者たちにも、その時まで私は何も告げていなかった。

2:17 私は彼らに言った。「私たちが直面している困難は見てのとおりだ。エルサレムは廃墟となり、その門は火で焼き払われたままだ。さあ、エルサレムの城壁を築き直し、もうこれ以上、屈辱を受けないようにしよう。」

2:18 そして、私に恵みを下さった私の神の御手のことと、また王が言ったことばを彼らに告げた。すると彼らは「さあ、再建に取りかかるう」と言って、この良い仕事に着手した。

2:19 ところが、ホロン人サンバラテと、アン

モン人でその部下のトビヤ、およびアラブ人ゲシムは、これを聞いて私たちを嘲り、蔑んで言った。「おまえたちのしているこのことは何だ。おまえたちは王に反逆しようとしているのか。」

2:20 私は彼らにことばを返して言った。

「天の神ご自身が私たちを成功させてくださる。それで、そのしもべである私たちは、再建に取りかかっているのだ。あなたがたには、エルサレムのうちに何の取り分も、権利も、ゆかりもない。」

ネヘミヤは三日間とどまって「障壁を調べ」ました。現実を直視し、有効な手立てを考えるためです。このように、信仰とは無計画や無知ではなく、現実を知把握した上でのものです。そして、「神が...させよう」としておられることを知るのは、それも「私の心を動かして」とありますから、自分が心からの責任を持ってあたるのです。そのような現実を把握した理解力と、神を中心にした信仰があったので、「嘲り蔑んだ」ことばにもひるむことなく、正しく発言することができたのです。

私たちが主の働きに生きる者として、ネヘミヤを模範としましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 4日 水曜

### ネヘミヤ

- 3:1 こうして大祭司エルヤシブは、その仲間の祭司たちと、羊の門の再建に取りかかった。彼らはそれを聖別して、扉を取り付けた。そしてメアのやぐらのところまで聖別し、ハナンエルのやぐらにまで及んだ。
- 3:2 その傍らではエリコの人々が建て、その傍らではイムリの子ザクルが建てた。
- 3:3 魚の門はセナアの子らが建てた。彼らは梁を置き、扉、錠、かんぬきを取り付けた。
- 3:4 彼らの傍らではハ・コツの子ウリヤの子であるメレモテが修復を行い、その傍らではメシェザブエルの子ベレクヤの子であるメシュラムが修復を行い、その傍らではバアナの子ツアドクが修復を行った。
- 3:5 その傍らではテコア人たちが修復を行ったが、彼らの貴族たちはその上役に頭を下げることはなく、工事に協力しなかった。
- 3:6 エシャナの門はパセアハの子エホヤダと、ベソデヤの子メシュラムが修復を行った。彼らは梁を置き、扉、錠、かんぬきを取り付けた。
- 3:7 彼らの傍らでは、ギブオン人メラテヤ、メロノテ人ヤドン、それにユーフラテス川西方の総督の管轄に属する、ギブオンとミツパの人々が修復を行った。
- 3:8 その傍らでは金細工人のハルハヤの子ウジエルが修復を行い、その傍らでは香料作りの一人ハナンヤが修復を行った。こうして、彼らはエルサレムを、幅広の城壁のところまで修復した。
- 3:9 その傍らでは、エルサレム地区の半区の長、フルの子レファヤが修復を行った。
- 3:10 その傍らではハルマフの子エダヤが自分



の家のそばの部分修復し、その傍らではハシャブネヤの子ハトシュが修復を行った。

3:11 その続きの部分は、ハリムの子マルキヤと、パハテ・モアブの子ハシュブが、炉のやぐらと一緒に修復した。

3:12 その傍らでは、エルサレム地区の残りの半区の長、ハ・ロヘシュの子シャルムが、自分の娘たちと一緒に修復を行った。

3:13 谷の門はハヌンと、ザノアハの住民が修復を行った。彼らはそれを建て直し、扉、錠、かんぬきを取り付け、糞の門までの城壁千キュビトを修復した。

3:14 糞の門はベテ・ハ・ケレム地区の長、レカブの子マルキヤが修復した。彼はそれを建て直し、扉、錠、かんぬきを取り付けた。

多くの人々が協力して、主の栄光のために城壁の再建工事にあつたことが分ります。工事が成功した理由は、ネヘミヤの指導力にもありますが、それだけではなく民の献身と協力にあつたのです。模範として、私たちもそれぞれのなすべき分を果たしましょう。

またここに名前と働きが記されているように、主は私たちの働きを覚えておられます。誰からもほめられることがなくても、主が見てくださることを覚えつつ、主に喜んでいただける奉仕をしましょう。また救いのためのチャレンジを続けていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 5日 木曜

### ネヘミヤ

3:15 泉の門はミツパ地区の長、コル・ホゼの子シャルンが修復した。彼はそれを建て直し、屋根を付け、扉、錠、かんぬきを取り付けた。また、王の園のセラフの池の城壁を、ダビデの町から下って来る階段のところまで修復した。

3:16 その向こうでは、ベテ・ツル地区の半区の長、アズブクの子ネヘミヤが、ダビデの墓地のそばまでと、人工貯水池までと、勇士たちの家のところまでを修復した。

3:17 その向こうでは、パニの子レフムなどレビ人たちが修復を行った。その傍らでは、ケイラ地区の半区の長、ハシャバヤが自分の地区のために修復を行った。

3:18 その向こうでは、ケイラの残りの半区の長、ヘナダデの子バワイなど、彼らの同僚たちが修復を行った。

3:19 その傍らでは、ミツパの長、ヨシュアの子エゼルが、城壁の曲がり角の隅にある武器倉に向かう上り坂のそばで、続きの部分を修復した。

3:20 その向こうでは、ザカイの子バルクが続きの部分を、城壁の曲がり角から大祭司エルヤシブの家の門のところまで熱心に修復した。

3:21 その向こうでは、ハ・コツの子ウリヤの子メレモテが続きの部分を、エルヤシブの家の門からエルヤシブの家の端まで、修復を行った。

3:22 その向こうでは、低地の人々である祭司たちが修復を行った。

3:23 その向こうでは、ベニヤミンとハシュブが自分たちの家のそばの部分を修復した。その向こうでは、アナネヤの子マアセヤの子ア



ザルヤが自分の家の近くを修復した。

3:24 その向こうでは、ヘナダデの子ビヌイが続きの部分を、アザルヤの家から城壁の曲がり角の隅まで修復した。

3:25 ウザイの子パラルは、城壁の曲がり角の部分と、監視の庭のそばにあって上の王宮から突き出ているやぐらを修復した。その向こうでは、パルオシュの子ペダヤと、

3:26 オフェルに住む宮のしもべたちが、東の方の水の門と突き出ているやぐらのそばの部分までを修復した。

3:27 その向こうでは、テコア人が、突き出ている大きなやぐらのそばからオフェルの城壁までの続きの部分を修復した。

3:28 馬の門から上の方は、祭司たちがそれぞれ自分の家のそばの部分を修復した。

3:29 その向こうでは、イメルの子ツアドクが自分の家のそばの部分を修復した。その向こうでは、シェカンヤの子、東の門を守る者シエマヤが修復を行った。

3:30 その向こうでは、シェレムヤの子ハナンヤと、ツアラフの六男ハヌンが、その続きの部分を修復した。その向こうでは、ベレクヤの子メシュラムが自分の部屋のそばの部分を修復した。

3:31 その向こうでは、金細工人の一人マルキヤが、召集の門の向かい側にある、宮のしもべたちや商人たちの家のところまでと、角の二階の部屋のところまでを修復した。

3:32 角の二階の部屋と羊の門の間は、金細工人と商人たちが修復した。

から自分に与えられた技術を持って奉仕しました。

主の働きは常にこのようです。教会もまた様々な働きがあり、様々な賜物を与えられた人々によって成り立っているのです。主の尊い救いはこのようにして広がっていくのです。

自分に与えられた賜物を通して、主の必要を満たしていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

一口に城壁と言ってもそれには様々な機能がありますから、その修理には様々な働きがあり、多様な技術が必要になります。彼らは主のために主





## 6日 金曜

### ネヘミヤ



4:1 サンバラテは私たちが城壁を築き直していることを聞くと、怒り、非常に憤慨して、ユダヤ人たちを嘲った。

4:2 彼はその同胞とサマリアの有力者たちの前で言った。「この哀れなユダヤ人たちは、いったい何をしているのか。あれを修復して、いけにえを献げようというのか。一日で仕上げようというのか。焼けてしまった石を瓦礫の山の中から拾って、生き返らせようというのか。」

4:3 彼のそばには、アンモン人トビヤがいて、彼も「彼らが築き直している城壁など、狐が一匹上っただけで、その石垣を崩してしまうだろう」と言った。

4:4 「お聞きください、私たちの神よ。私たちは軽蔑されています。彼らの侮辱を彼ら自身の頭上に返し、彼らが捕囚の地でかすめ奪われるようにしてください。

4:5 彼らの咎をおおい隠すことなく、彼らの罪を御前から消し去らないでください。彼らが、建て直している者たちを憤慨させたからです。」

4:6 こうして私たちは城壁を築き直し、城壁はすべて、その半分の高さまでつなぎ合わされた。民に働く気があったからである。

4:7 サンバラテ、トビヤ、アラブ人、アンモン人、アシュドデ人たちは、エルサレムの城壁の修復がはかどりに、割れ目もふさがり始めたことを聞いたとき、激しく怒り、

4:8 皆でエルサレムに攻め入って混乱を起こそうと、陰謀を企てた。

4:9 そこで私たちは、私たちの神に祈り、彼らに備えて昼も夜も見張りを置いた。

4:10 ユダの人々は言った。「荷を担ぐ者の力は弱り、瓦礫は山をなしている。城壁を築き直すことなど、私たちにできはしない。」

4:11 私たちの敵は言った。「彼らが気づかないうちに、見つけられないうちに、彼らの真ん中に入り込み、彼らを殺して、その工事をやめさせよう。」

4:12 そのため、彼らの近くに住んでいたユダヤ人たちはやって来て、四方八方から十回私たちに言った。「私たちのところに戻って来てください。」

4:13 そこで私は、民をその家族ごとに、城壁のうしろの低い場所の空地に、剣や槍や弓を持たせて配置した。

4:14 私は彼らの様子を見て立ち上がり、有力者たちや代表者たち、およびその他の人たちに言った。「彼らを恐れてはならない。大いなる恐るべき主を覚え、自分たちの兄弟、息子、娘、妻、また家のために戦いなさい。」

サヌバラテの存在のように、神様のために生きようとするときに、必ずと言って良いほどに妨害する人が現れます。そこから本当の献身であり挑戦であることを、銘記しましょう。

ネヘミヤは「…民をその家族ごとに、城壁のうしろの低い所の、空地に、剣や槍や弓を持たせて配置」して、これに対処しました。彼は祈り、そして考えて実行したのです。

城壁の再建に伴うイスラエルの帰還は、預言に約束された主の御計画ですが、このように主のみわざも従う者たちの創意工夫と不屈精神によって実現しているのです。

主のため、主のみこころと思うなら、困難が

あっても、挑戦し続けましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 7日 土曜

ネヘミヤ



4:15 私たちの敵が、自分たちの企みが私たちに悟られたこと、神がそれを打ち壊されたことを聞いたとき、私たちはみな城壁に戻り、それぞれ自分の工事に当たった。

4:16 その日以来、私の配下の若い者の半分は工事を続け、もう半分は、槍、盾、弓、よろいで身を固めていた。隊長たちがユダの全家を守った。

4:17 城壁を築く者たち、荷を担いで運ぶ者たちは、片手で仕事をし、片手に投げ槍を握っていた。

4:18 築く者はそれぞれ剣を腰にして築き、角笛を吹き鳴らす者は私のそばにいた。

4:19 私は有力者たち、代表者たち、およびそのほかの人々に言った。「この工事は大きく、また範囲は広い。私たちは城壁の上で互いに遠く離れ離れになっている。

4:20 どこでも、角笛が鳴るのを聞いたら、私たちのところに集まって来なさい。私たちの神が私たちのために戦ってくださるのだ。」

4:21 こうして私たちはこの工事を進めたが、その半分の者は、夜明けから星が現れるまで槍を手にしていた。

4:22 そのときまた、私は民に言った。「それぞれ自分の配下の若い者と一緒に、エルサレムの内側で夜を明かすようにしなさい。そうすれば、夜には見張りがいて、昼には働くことができる。」

4:23 私も、私の親類の者も、私の配下の若い者たちも、私を守る見張りの人々も、私たちの中のだれも服を脱がず、水場でもそれぞれ投げ槍を持っていた。

「私の配下の若い者の半分は工事を続け、もう半分は、槍、盾、弓、よろいで身を固めていた。」とあります。外に対する戦いと内側の戦いが両方必要であることがわかります。

教会であるなら、それは内側の一致や愛の交わりと、伝道です。また家庭であるなら、学校や職場での活躍と家庭の平和でしょう。個人であるなら人間関係と自分自身の内面でしょう。

またそれは目に見える戦いと霊的な戦いということができるでしょう。神殿や城壁は信仰を守るものであり、また神様への奉仕だからです。教会でも家庭でも個人でも、信仰と社会性は両立すべきです。別の言い方をすれば、主との交わりと世への証しは、両方なくてはならない大切なものなのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



5:1 さて、民とその妻たちから、同胞のユダヤ人たちに対して強い抗議の声があがった。  
5:2 ある者は、「私たちには息子や娘がいて、大人数だ。食べて生きるために穀物を手に入れなければならない」と言い、  
5:3 またある者は、「私たちの畑も、ぶどう畑も、家も抵当に入れなければならない。この飢饉に際して穀物を手に入れるために」と言った。  
5:4 またある者は言った。「私たちは、畑やぶどう畑に課された王の税金を支払うために、金を借りなければならなかった。  
5:5 現に、私たちの血肉は私たちの同胞の血肉と同じだし、私たちの子どもも彼らの子どもと同じだ。それなのに、今、私たちは息子や娘を奴隷に売らなければならない。実際、もう娘が奴隷にされている者もいる。ところが、私たちの畑もぶどう畑も他人の所有となっているので、私たちにはどうする力もない。」  
5:6 私は彼らの抗議と、これらのことばを聞いて、激しく腹を立てた。  
5:7 私は十分考えたうえで、有力者たちや代表者たちを非難して言った。「あなたがたはみな、自分の同胞たちに、利子をつけて金を貸している。」そして大集会を開いて彼らを責め、  
5:8 彼らに言った。「私たちは、異邦の民に売られた同胞のユダヤ人を、できる限り買い取った。それなのに、あなたがたはまた自分の同胞を売ろうとしている。彼らはまた私たちに売らなければならない。」「すると彼らは黙ってしまい、一言も言えなかった。

5:9 私は続けた。「あなたがたのしていることは良くない。あなたがたは、私たちの敵である異邦の民から侮辱を受けることなく、私たちの神を恐れつつ歩むべきではないか。  
5:10 私も、私の親類の者も、私の配下の若い者たちも、彼らに金や穀物を貸してやったが、私たちはその負債を帳消しにしよう。  
5:11 だから、あなたがたも今日、彼らの畑、ぶどう畑、オリーブ畑、家、それに、あなたがたが彼らに貸していた金や穀物、新しいぶどう酒、油などの利息分を彼らに返してやりなさい。」  
5:12 すると彼らは、「私たちは返します。彼らから何も要求しません。私たちはあなたの言われるとおりにします」と言った。そこで私は祭司たちを呼んで、この約束を実行する誓いを立てさせた。  
5:13 私はまた、衣の裾を振って言った。「この約束を果たさない者はだれでも、神がこのように、その人の家から、また、その人の勤労の実から振り落としてくださいますように。このように振り落とされて、無一文になりますように。」すると全会衆は、「アーメン」と言って【主】をほめた。こうして民はこの約束を実行した。

仲間であるのに、困っている者に「抵当に入れ」させて金を貸している者がおり、彼らの生活を益々苦しいものにしていました。主の働きを協力して進めているときに、自分の安全や都合しか考えない者は、前進を妨げます。

サタンは神のチームワークの中に働きます。権利や都合や正しさを主張する前に、主の優先順位と価値観を大切にしましょう。愛の共同体こそが神の御国にふさわしいことを忘れないようにしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

